

【撮ってみよう！湿板写真】

概要：フィルムが生まれる前の写真技術をワークショップを介して写真について視野を広げる。

内容：約170年前の写真技術”湿板写真”の撮影ワークショップと現像過程の見学。

料金：28,000円（ニス作業、デジタル化作業別途追加料金）

集客：9名

会場：おおず赤煉瓦館2階 / 別館1階

担当：菊地知也（武蔵野美術大学造形学部大学院映像表現コース1回生）

中野雄一郎（武蔵野美術大学造形学部映像学科4回生）

川岸三千花（武蔵野美術大学造形学部映像学科4回生）



受付会場および暗室作業場所



ワークショップでの作品



撮影場所にカメラを設置する学生メンバー
左：菊地知也 右：川岸三千花



ワークショップでの作品



ワークショップでの作品

【描いてみよう！活動写真】

概要：35ミリカラーリバーサルフィルムにカリグラフィーする造形ワークショップ

内容：約100年前の白黒映画をカラー化する作業の追体験と画が動く仕組みを活動写真機を介して体験する。

料金：1,500円

集客：3名

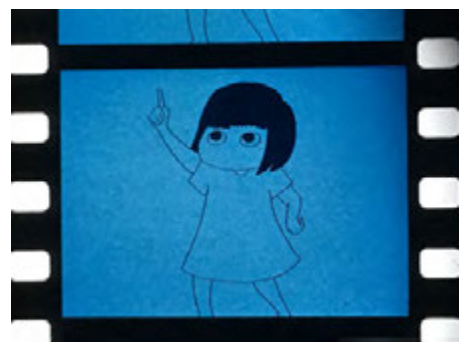
会場：おおず赤煉瓦館2階

担当：山端健志（武蔵野美術大学造形学部映像学科4回生）

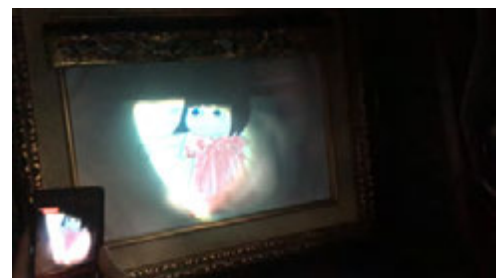
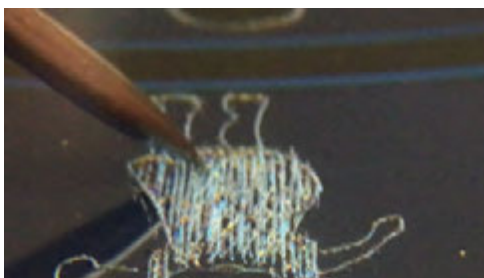
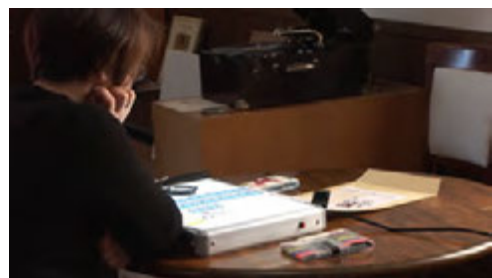
山口衣織（武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科1回生）



ワークショップ中の様子



フィルムに登場した
キャラクター「わいちゃん」



完成後、ニッケルオデオンワゴンで鑑賞した

【ニッケルオデオンワゴン】

概要：太陽光を光源とする人力移動映画館による作品鑑賞

内容：武蔵野美術大学の学生が制作したオリジナルフィルム作品の手回し上映

料金：0円

集客：約 100名

会場：ポコペン横丁広場

担当：山端健志（武蔵野美術大学造形学部映像学科4回生）



鑑賞の様子



スポンサー欄



内部に設置された活動写真機（ヒコーキ 山本眞盛堂）

【まちびと手回し映画館】

概要：本物のヴァイタスコープで当時のフィルム作品を鑑賞する

内容：活動弁士による当時の活動写真上映を再現した手回し上映会

料金：11月16日：1人1,500円

：11月17日：4作品500円

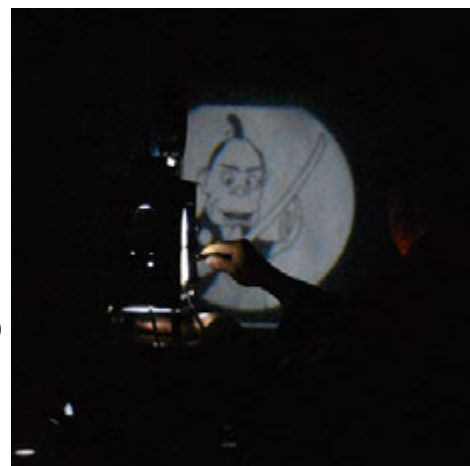
集客：計29名

会場：おおず赤煉瓦館別館1階

担当：松本夏樹（空想藝術商會 / 武蔵野美術大学非常勤講師 / 映像文化史家）

川村真理子（空想藝術商會 / 音楽療法士）

西崎梨晴（武蔵野美術大学造形構想学部映像学科1回生）



日本最古の劇場公開アニメ
「なまくら刀」の手回し上映

上映作品

～空想藝術商會所有 トリアセテート保存フィルム～

- ・動物オリンピック（水害場面カット）
- ・二宮金次郎
- ・チャップリン黄金狂時代
- ・只野凡児 東京観光
- ・お好み安兵衛花婿の巻
- ・血煙高田馬場
- ・砂煙高田馬場
- ・なまくら刀

～福尾英明氏所有 セルロイドフィルム～

- ・全フィルム新発見のため現在正式名称調査中



福尾英明氏所有の
エジソンによる手回し映写機
プロジェクトング
・キネトスコープ

上映では松本氏所有の
大型映写機と交互に利用された。



上映前の口上の様子 弁士：松本夏樹



入り口の様子



映像文化史体験実行委員会

西崎 梨晴 川岸 三千花 山口 衣織
菊地 知也 中野 雄一郎 山端 健志

和装協力 / 着付

中本 英美里

イラスト

伊東 雄高 松橋 絵菜

空想藝術商會

松本 夏樹 川村 真理子

オフィシャルスポンサーのみなさま

株式会社 KITA

空想藝術商會

記録撮影

濱野 龍征 福島 可奈子

伯楽 ホテルオータ 肱川産業 Atelier Patio

有限会社 大森開発 株式会社 愛商

酒乃さわだ

記録映像 編集 / 音楽

山端 健志

PIMMY 倶楽部 磯野百会 伊賀綾乃 やきとり亙福

城戸運送有限会社 美ゆき ポコペン横丁 ドリームファーム

ママプレゼンツ大丸 有限会社 インテリアミヤモト PM 制作

映写機材サポート

福尾英明

感謝

西村カメラ はたご屋霧中 おおず赤煉瓦館 アスール美術

城下の machibito 実行委員会

フィルム撮影機材サポート

西村カメラ

映写機材指導

松本夏樹

助成

一般財団法人 さぬき生活文化振興財団

フィルム協力

空想藝術商會 福尾英明

協力

武蔵野美術大学 空想藝術商會